

高齢者・障害者等の避難行動の特徴と配慮したい項目

種 類	配 慮 し た い 項 目	
	災 害 直 後	避 難 所 等 の 生 活
肢 体 不 自 由 寝たきり高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・移動困難性あり。 ・災害の認知遅れる可能性あり。 ・介助者、家族との共同避難が遅れやすい。 ・家族や介助者の避難も制約を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介助者との対応が困難になる恐れがある。 ・見知らぬ介助者へのストレス ・福祉機器、補助具がない場合は移動困難 ・日常生活では車いすを使用できても災害時には大きな制約がある。 ・室内外の移動空間、トイレ、入浴設備等に物的配慮が必要
視 覚 障 害 者	<ul style="list-style-type: none"> ・単独での移動がおおむね困難 ・避難時の移動は極端に制約される。 ・災害の知覚が遅れやすい、災害の状況が把握困難 ・災害時には聴覚からの情報が不可欠 ・危険からの回避が遅れやすい。 ・日常的な生活空間でも自力避難は困難 	
聴 覚 障 害 者 言 語 障 害 者	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の情報入手が困難 ・災害の知覚が遅れやすい。 ・視覚情報が避難の際重要となる。 ・危険からの回避が遅れやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難空間でのコミュニケーション支援が不可欠
内 部 障 害 者 ・ 難 聴 者	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動が遅れやすい。 ・自力避難や移動が困難な場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時に常用薬が欠かせない。 ・避難環境の整備が重要
て ん か ん 者	<ul style="list-style-type: none"> ・単身で避難が困難 ・災害状況把握が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ショックや環境変化による発作に留意 ・避難時に常用薬が欠かせない。 ・室内環境に配慮
自 閉 症 者 知 的 障 害 者	<ul style="list-style-type: none"> ・単身で避難が困難 ・災害状況把握が困難 ・介助者を含め避難が制約されやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ショックや環境変化による発作に留意 ・適切な介助者が不可欠 ・避難所の設備・環境にも配慮
精 神 障 害 者	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ショックや環境変化に留意 ・避難時に常用薬が欠かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲と適切なコミュニケーションが不可欠 ・避難所の設備環境にも配慮
乳 幼 児 ・ 子 ども ・ 妊 婦 ・ 怪 我 ・ 病 気 療 養 者	<ul style="list-style-type: none"> ・単身で避難が困難、災害状況把握が困難 ・災害ショック、環境変化によるストレスに配慮 ・適切な介助者が不可欠 ・介助者を含め避難が制約されやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の設備環境にも配慮 ・妊婦は避難中の産気に注意
単 身 高 齢 者	<ul style="list-style-type: none"> ・避難や移動の困難性あり。 ・適切な状況把握が困難 ・災害ショック、環境変化によるストレスに配慮 ・介助を要する場合あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の設備環境にも配慮
外 国 人 ・ 旅 行 者 他	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な状況把握が困難 ・情報伝達方法を明確にする必要がある。 ・多様な言語を用いた避難マニュアルの作成 ・災害ショック、環境変化によるストレスに配慮 	

平成 7 年 12 月 「季刊福祉労働 第 69 号」所収論文による。

「障害者・高齢者の災害対策」(秋山・高橋・三星)